

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ゆめのもり			
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 15日 ～ 令和7年 6月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13家庭 (児童数17人)	(回答者数)	11家庭
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 15日 ～ 令和7年 6月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和年 7月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人運営の学童が隣接しており、児童同士の交流が図れる。	日頃から遊びの中で交流したり、土曜日や長期休みの際に合同イベントを行ったりしている。	今後も合同イベントを継続的に行う。 日頃の遊びの中でも交流を図れるように普段から職員同士が連携をとり、支援を行っていく。
2	自然が豊かで充実したスペースがあり、のびのびとした活動が行える。	周りが竹林であったり、散歩コースとなる場所があったりと自然に溢れているため外遊びも積極的にしている。	安全面に配慮をしながらこの環境ならではの遊びや活動を子どもたちと一緒に考えながら行っていく。ゆったりのびのびと過ごす空間・時間の提供を意識して支援をしていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が不足している。	専門性が必要かつ、ニーズを把握できていなかった部分であるため積極的に行うことができていなかった。	自治体や近隣団体から発信される家庭支援に繋がる情報や研修等を積極的に取り入れ、保護者の皆様に提供していく。また、職員の専門性を高めるため研修等に参加しながらより良い支援を行えるよう努めていく。
2	保護者同士やきょうだい同士の交流の機会、および支援	夏祭りやクリスマス会等が該当の目的を担う場として開催していたが、十分にその役目を果たせていなかった。	親子きょうだい参加可能なイベントの周知と積極的に参加していただけるような内容を検討して開催する。またニーズに合わせてその機会を増やしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ゆめのもり

公表日 令和7年 7月 10日

利用児童数 令和7年 6月 30日

回収数 11家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			2		法令上の配置基準は満たしております。より充実した支援のため今後、質の高い人員確保を検討しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1		1		職員一同、こども一人ひとりのことを理解した専門性の高い支援を行えるよう日々努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		HPにて公表している支援プログラムを基に日々の支援内容を考えています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10		1			こどもの普段の様子や保護者からヒアリング、アセスメントを行って一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成を行います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1		1		より良い支援ができるよう、必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10		1			新しい計画を作成した際には直接ご説明をしてニーズに対して相違がないよう心掛けてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		1		お子さまが楽しめるよう、季節やその時の興味や雰囲気に合わせて日々の活動や土曜イベントの内容を考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1		1		隣接している学童と遊びの中で関わったり、合同イベントを定期的に行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	1	5		今後保護者のニーズに合わせて研修会のご案内や情報提供を積極的に行えるよう整えていきたいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10		1			今後もお子さまやご家族の状況に寄り添った支援を職員一同行っていけるように努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1		5	きょうだい向けのイベントがもしあれば参加してみたいです。	夏祭りやクリスマス会等で保護者やきょうだい同士の交流の機会を設けるよう心掛けていますが、今後はより積極的にそのような場を作りご参加いただいてその後の支援へと繋がるよう努めていきたいと考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1	LINEで気軽にいつでも連絡できるので助かります。	送迎時のやりとりに加え、公式LINEアカウントを活用して日々の連絡を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2		今後HPなどを活用して各マニュアルを周知していただけるようにいたします。訓練に関しましては職員間でも定期的に打ち合わせをして訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8		1	2		定期的に活動の中で避難訓練等を行っています。今後も必要な訓練を積極的に行えるよう努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			1	とても安心していると感じます。	今後もお子さまに安心して通っていただけるよう職員一同努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			1	いつも楽しみにしています。通院で行けないと「行きたかったのに！」と不満そうです。	今後もお子さまが楽しく通っていただけるよう職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10			1	長期休暇にも対応していただけて本当に助かっています。いつもありがとうございます。	今後とも事業所の運営・支援にご満足してご利用いただけるよう、職員一同尽力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ゆめのもり		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			学校行事等による変則的な日程や職員の病欠、何らかのトラブル時は送迎等の人員が足りない場合があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			外遊びスペースの整備を行う予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		保健室や事務室等の場合によって使うようにしています。また各部屋に仕切りがあり、部屋を分けることが可能です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			今年度の保護者向け評価表の結果を踏まえて職員一同業務改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		現在は第三者による外部評価は行っていません。今後必要に応じて実施を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		市や他団体が開催する外部研修に積極的に参加して、また研修後は伝達や資料の共有で職員の資質向上を図っています。	今後も参加可能な研修は積極的に参加して、職員の資質向上を目指していきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		日頃のこどもの様子や送迎時等の保護者からの聞き取りを踏まえて日々アセスメントを行って、それを踏まえて個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画を作成する際には、職員全体で日々の様子や必要な支援について意見を出し合いそれに基づいて作成をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		定期的に行っている職員会議内で個別支援計画を共有し、内容に沿った支援ができるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			今後も多様な活動プログラムが行えるように日々の活動を工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		送迎前の時間でその日の確認事項の伝達や帰りの会(集団活動)の内容を話し合っており決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		送迎や勤務時間の関係で必ず難しいこともありますが、個別ファイルにてその日の様子や出来事等を書き留め情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		連絡帳や個別ファイルにて記録をとり、その後の支援に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		相談支援員や学校、保護者を介して支援のための連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校の連絡ツールアプリや保護者からの連絡で適宜対応をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5		園や事業所から直接的な情報共有はできていないことが多いが、担当の相談支援専門員を介して情報を得て、理解に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			上記と同様、担当の相談支援員を介して情報共有を行えるように支援内容等を伝えていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		豊明市児童発達センターどんぐり主催の研修がある場合は積極的に参加しています。	引き続き研修等に参加することで、必要な際に知識や助言を受けられるよう努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		学童が隣接しており、日頃から児童同士の交流や合同イベントを開催しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		できれば参加したいですが、過去の市の協議会に放デイ事業所の職員が出席している様子や記録はないため難しいのが現状です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			今後保護者のニーズを踏まえながら、家族支援プログラムや研修や情報提供を行っていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		家族参加可能なイベント(夏祭りやクリスマス会等)を毎年行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月お渡しする月間予定表やSNS(インスタグラム・Facebook)にて発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			コロナ禍以降実行できていないこともありますが、夏祭り等を通じて地域の方との交流も図っていきたくと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者からの情報をもとに、こどもの状況や必要な対応等を個別ファイルにて職員内で共有をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時、保護者にアレルギーに関するアンケート提出のご提出をお願いしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった際には定期的に行う職員会議にて内容を共有して、その後の対策についても話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		代表職員が虐待防止研修に参加したのちにその内容を職員会議等で情報共有・研修等を行って職員一同適切な対応をしております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			